

社会福祉法人 令和8年1月号

葦の家福社会だより



新春 あけましておめでとうございます！



あけましておめでとうございます。昨年も、地域の皆さまとの交流を通してたくさんの出会いや学びをいただきました。葦の家福社会は、これからも地域に開かれた法人として、皆さまと共に活動の輪を広げていきたいと考えております。本年も「つながり」「安心」「笑顔」を大切に、仲間たちとそのご家族、地域にお住いの障がいのある方々の毎日を丁寧に支えてまいります。変わらぬご支援を賜りますようお願い申し上げます。

さて、昨年を振り返ってみると一番印象に残ったのは、やはり「えーる油山」の移転・新築でした。えーる油山は平成28年に廃病院の建物を改装して始めた通所事業所ですが、当初から施設内にいたるところが傷んでおり、開所数年で移転の検討を始めざるを得ない状況にありました。その後、



新えーる油山での餅まきの様子

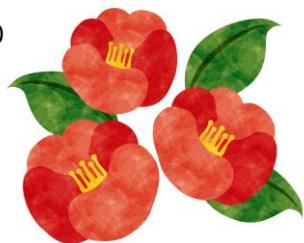
なかなか条件に合う物件も見つからないまま、数年が経過したのですが、地域の方からのお話があり、葦の家のすぐ近くという好条件の土地を取得できました。建設費の高騰などにより施設建設のハードルもかなり高くなっていたのですが、令和6年度になんとか建設資金の目途も立ち、同年11月より新施設建設が始まりました。昨年1月には建物の棟上げに合わせ「餅まき」を行い、地域の方々、子どもたちが集まってくれて、すごく賑やかなイベントになったことがとても印象に残っています。

建設にあたっては地域説明会の開催など、地域の方々の理解が得られるよう準備を進めていたところ、こちらの心配とは逆に「えーる油山の移転を歓迎します」といった声も多数いただき、開所に向けて弾みがついたような思いでした。次のページで報告している「わはは祭り」でも地域の関係者から「せっかくこの地域に来られたのなら交流活動などもしたいですね」といった声掛けをいただき、これからどんな形で地域の皆さんとの交流が進んでいくのかとてもワクワクしています。

また、2020年に始まった「コロナ禍」は事業所の運営だけでなく、仲間たちの活動、とりわけ地域に出ていく活動が大きく制限されていましたが、一昨年前から「わはは祭り」も再開し、仲間たちの外出活動もコロナ前の状況に戻ってきました。これまで地域の中で紡ぎあげてきたものが少し解れてしまったところもありますが、またひとつずつしっかりと紡いでいきたいと思います。今年もどうぞよろしくお願ひいたします。

社会福祉法人葦の家福社会

理事長 末次 恵一



わはは祭り 2025 開催しました！



節目の年をみんなでお祝い！

昨年はえーる油山が樋井川へ新築移転してから初めて迎える大きな節目の年でした。「新しい場所で、気持ちも新たにスタートできる1日にしたいよね」という思いに加えて、樋井川への移転により、法人本部や葦の家、りーど、すまいるホームといった仲間の事業所が、同じ地域にギュッと集まつたことも大きなポイントでした。こうした“仲間が近くに集まり、つながりが増えていく”意味も込めて、今回のお祭りの副題は「笑顔ふえ～る、ギュッとあつま～る」に決定しました。

いつもより出店数を増やしたほか、今回は初めてキッチンカーにもご協力いただき、会場にはおいしい香りが広がりました。利用者さんやご家族、地域の方々が自然と集まりやすい雰囲気づくりを目指し、スタッフも準備段階からワクワクしながら企画を進めてきました。

今回は秋のゆったり開催に

これまで10月開催が恒例でしたが、近年の暑さや天候の不安定を考え、今回は少し涼しくなった11月にお引っ越し。季節が変わっただけで準備の進め方や当日の雰囲気も変わり、会場にはゆったりとした秋の空気が流れていきました。

ただ、開催日が「ふれあい城南フェスティバル」や「福岡マラソン」と重なるということもあり、ボランティアさんや地域の方の参加がいつもより少ないかもしれない…という心配も。さらに朝は小雨が残っており、「大丈夫かな？」とスタッフ一同そわそわしていました。

それでも開始のころには雨もすっかり上がり、空模様も落ちてひと安心。気づけば自然と人が集まりはじめ、最終的には約700名の方が来場してくださいました。



坂本勝則さんとわははサンバ♪



仲間の作品展も行いました！



仲間の掛け声でお祭りスタート！



他事業所出店も賑わいました(12出店)



開催日時 令和7年11月9日(日)

10:30~14:00

場 所 福岡市立長尾中学校

(後援会バザーはえーる油山にて開催)

来場者数 約700名

ボランティア参加人数 49名(利用者家族を除く)

つながりも広がった、あたたかい一日

今回は、司会進行をボランティアの方にお願いしたこと、そこから新しくステージ出演者さんとのご縁がつながるという、うれしい“予想外”も生まれました。毎年続いているイベントでも、こうして新しい出会いがあるのは本当に励みになります。

一方で、雨予報により当日の朝からバタバタとレイアウト変更が発生。作業所の出店を体育館内へ移したり、後援会の日用品バザーをえーる油山で開催するなど、いつもとは違う動きが多くありました。それでも、「手伝いますよ」と声を掛け合いながら、関係者みんなで工夫し、無事にイベントを進行することができました。

終わってみると、大きなトラブルもなく参加してくださった皆さまのおかげで、心温まる時間が広がるお祭りとなりました。

今回も快く会場をお貸しいただいた長尾中学校様、広報活動にご協力いただいた地域の皆さん、前日・当日にボランティアとしてご協力いただいた皆さん、当日会場にて励ましの言葉をかけていただいた皆さん、このお祭りに関わって下さった全ての方々に感謝申し上げます。



日用品ミニバザー 約 160 名の来客
がありとても賑わっていました。



子どもゲームコーナーも大盛況！

いろんな地域イベントにも参加しました！

○堤地区大運動会

10/5(日) 堤地区大運動会に参加しました！ 前日の大雨が嘘のように晴れ、朝から地域の皆さんと一緒に準備し、無事に開催できました！ 葦の家からは S さん親子が参加し、パン食い競争・宝釣り・大玉転がしで元気いっぱいに頑張りました(◦>_<◦)，町内のテントでは、赤ちゃんからご年配の方まで幅広い世代が交流し、選手の応援にも大きな声援が飛び交いました。



今回は、テントの搬入・設営・撤去などの準備に法人各事業所の職員も協力してくれました。法人の職員が力を合わせて地域行事に協力できることをとても嬉しく思いました。とても爽やかで気持ちの良い一日となりました♪

○樋井川4丁目秋祭り

10/25(土) 樋井川4丁目秋祭りに参加しました♪ 例年8月の夏祭りでしたが、暑さ対策で秋祭りになりました。仲間たちも過ごしやすかったようで、買い物したり、パン食い競争（左写真）や宝釣りに参加したりして、とびきりの笑顔でした★ 今回もわははサンバをステージで発表したり、バザー出店をしたりと、仲間たちも頑張りました！ 授産品もたくさんお買い上げいただきました！ みなさん、ありがとうございました。



法人トピックス



障がい者スポーツ大会に参加しました

9/21(日)に博多の森陸上競技場で開催された「福岡市障がい者スポーツ大会」に葦の家・えーる油山の仲間たちが参加しました。当日は未明に大雨が振り中止が懸念されていたところ、陸上競技の方は無事開催されました。フライングディスク競技は雨天の影響で中止でした… (T_T)。そのためみんなで 50m走に出場した仲間の応援を行い、フライングディスク協議に出場予定だった仲間たちは急遽、葦の家とえーる油山で、フライングディスクの対抗戦を行いました。



障がい者週間記念のつどい



12月3日～9日は「障がい者週間」です。この期間にいろいろなイベントが開催され、福岡市では 12/7(日)に福岡市役所ふれあい広場で『障がい者週間記念の集い』が開催されました。

葦の家&えーる油山の仲間たちもバザー出店やステージ発表などで参加しました。もちろんわれらが「わははあーと君」も大活躍！

会場付近はもうすっかりイルミネーションで彩られ、仲間たちもクリスマス気分を満喫してきました (*^_^)v

クリスマスマルシェを開催しました！

樋井川に移転してきたえーる油山を地域の方々にお披露目する機会も兼ねて、12/13（土）に「クリスマスマルシェ」を開催しました。えーる油山と葦の家からの出店はもちろん、すぐ近くにある地域交流コミュニティースペース「樋井川テラス」で開催されている「さくらの木 癒しマルシェ」の皆さんにも参加していただき、手作りワークショップやハンドメイド雑貨、手作り焼き菓子、お総菜などの販売も行いました。当日は小雨の降るあいにくの天気でしたが、多くの地域の方々にご来場いただき、とても賑わいました。仲間たちも授産品の販売を頑張ったり、買い物をしたり、地域の方と一緒に手作りワークショップに参加したりと、このマルシェを楽しんでいました。雨天で少し肌寒い日でしたが、あつたかい雰囲気のマルシェとなりました。ご来場、ご出店いただいた皆さま、本当にありがとうございました！



法人内各事業所からのご報告



えーる油山（生活介護）

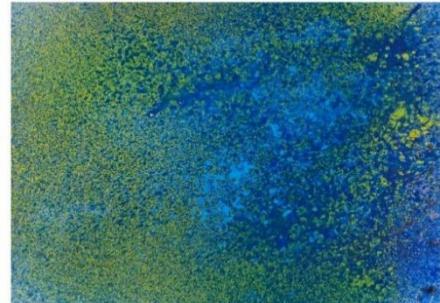
えーる油山から全国大会へ — 奈良での学びと喜びの2日間

きょうされん第48回全国大会 in 奈良に行ってきました！

10月17日～18日に開催されたきょうされん全国大会に、初めてえーる油山から参加しました（※1）。第17回グッズデザインコンクールで応募作品1,592点の中から、「はたらく仲間のうた」カレンダーのデザインに仲間の薗山さんの作品が採用され、表彰式に出席しました。新幹線と在来線を乗り継ぎ、てんかんへの配慮から車椅子を利用し、ご本人・ご家族・引率職員の4名での参加となりました。大会には全国から約2,200人が集い、多くのボランティアに支えられながら盛況のうちに閉会しました。支えてくださった皆さんに感謝するとともに、これからも仲間のチャレンジを応援していきたいと思います。

（支援員：山内 恵）

（※1）2021年にもカレンダーに採用された仲間がいましたが、新型コロナウイルス感染症の影響で全国大会が中止となりました。



受賞作品：海



はじめての新幹線



奈良公園



壇上の薗山さん

薗山さんの作品を全国の方に見ていただき、中には「作品のファンになりました」とお声がけいただくこともあり、一緒に制作した私も非常に感慨深く思っています。

薗山さんの創作を通じて、ご本人と社会を繋げることが出来ればと考えていたので、そのきっかけを作ることが出来たことは何よりも嬉しいです。これからも薗山さんのニーズを汲み取りながら、作品作りを続けていきたいと思います。

（支援員：金子）



「大輝さんの絵が入選しました」と聞いた時は夢のようでした。そして10月、職員さんと共に、親子初めての新幹線で奈良へ。奈良公園で鹿に餌をあげ、翌日はバスで奈良コンベンションセンターへ移動。奈良では乗り物の車いす対応や、道端の鹿の多さに驚きました。表彰式までの間は、全国の入選作品を見たり、ダンスや授産品の買い物を楽しんだりし、式では大輝が20人の最後として表彰され、皆さんの拍手をいただく姿に感無量でした。堂々と立つ姿が誇らしかったです。親子で良い思い出ができました。（薗山大輝さんのお母さんより）

葦の家（生活介護）

～9月19日に下関にある海響館へバスハイクに行きました～

当日は天気も良く、外出日和となりました。出勤してきた仲間も、早く出発したいとウキウキした様子でバスを待っていました。海響館までの移動中にレクリエーションで絵しりとりをしました。仲間と職員で「この絵は何だろう？」「次は何を描く？」と相談しながら進め、1周回った後に答えを見て「合ってたね」「あ～これだったのか」と海響館までの道のりを楽しみました。



海響館に到着後、イルカの見えるレストランでランチを食べました！ レストラン内の横はイルカの水槽となっており、イルカが泳いでいる姿を見ながらいただく昼食はいつもよりも楽しくおいしかったと仲間からも好評でした♪ 水族館では大水槽ですいすい泳ぐペンギン🐧や、世界最大級の淡水魚ピラルク、世界中から集めたフグ🐡など、なかなか見ることのできない生き物にみんな



笑顔で楽しんでいました♪ 鑑賞後はみんなが楽しみにしていたお買い物🛍️ クッキーなどのおやつや、キーホルダー、小さいぬいぐるみなど、時間をかけて考えながら、欲しいものを自分で選んで購入していました。帰りのバス内でも、「あの魚がすごかった」「ペンギンがかわいいかった」等、職員と仲間で話しました。事故なくみんな笑顔で楽しむことができた良いバスハイクとなりました。

(支援員：藤吉)

若久特別支援学校放課後等支援事業

たんぽぽルームの卒業生と在校生、先輩・後輩のアツい絆！

10月末に、毎年恒例の「ハロウィンイベント」を行いました🎃 職員室訪問では、皆で合言葉「Trick or Treat！」と唱えると、先生方もノリノリで「いたずらされては困るなあ！」と、うれしそうにお菓子をくださいました🍬🍭🍫



えーる油山訪問では、たんぽぽルーム出身の先輩方が出迎えてくださり、ここでも合言葉と引き換えにたくさんのお菓子を受け取りました👻🎃🍩 後輩たちも、昨年度の卒業生のことはよく覚えていたようで、嬉しそうにハグをする姿があちらこちらで見られ、お互いに再会を喜んでいるようでした。🎉🎊🍫



最後にお礼を言って部屋を出ようとした時、一人の児童が卒業生に無言で手を伸ばし握手を求める姿を見た時には、卒業はしていても先輩・後輩のアツい絆は続いているんだ！と、こちらの胸もアツくなりました🤝✨

(支援員：大塚)

ヘルパーステーションほっとほっと・ショートステイ

2025年の外出支援の様子 様々な場所への経験、笑顔もたくさんの1年でした！（支援員：桂木）



念願のカフェ♪



待ち時間もワクワク♪



自分で選んだお店は喜びが増します♪



普及の名作アニメ♪



秋の日差しいっぱい！気持ちいい～♪



神社めぐりにお買い物も♪



相談支援（基幹相談支援センター・相談支援センターあしつぶ）

子どもの成長をつなぐために — 就学期の引継ぎ情報を考える城南サポネットの取り組み

皆さんは、子どもの成長において必要なことはどんなことだと思われるでしょうか。子どもは障がいの有無に関わらず、こころやからだなど様々な側面から発達を考えていく必要があります。特に継続した支援が必要な子どもは、日頃から関わる支援者の重要な情報について、学校進学などで担当が変わっても引き継がれていくことが大切です。

昨年11月に「就学期に必要な引継ぎ情報について検討しよう」をテーマに、今年度第2回目の城南サポネットを開催しました。障がい福祉サービス、相談支援、放課後デイ、学校、保育園、幼稚園など様々な職種の35名の方が参加し、それぞれの専門的視点を共有しながら、必要な情報の整理や引継ぎのタイミングについて意見を出し合いました。参加者からは「機関ごとの視点や優先順位の違いが学びになった」「関係者全員での相談や、細かな情報共有の重要性を感じた」



「家族支援が必要なケースでも、まず本人を知ることが大切」「ニーズやサービスが不明なままの引継ぎの難しさを実感した」などの声が寄せられました。今後は、この研修で出た意見をもとに、引継ぎにおける城南区版のサポートシートを作成していく予定です。

（相談支援専門員：佐藤）

グループホーム（すてっぷ・すまいるホーム）

地域連携推進会議～グループホームの課題と現状を語る～

7/31（木）にグループホームの地域連携推進会議を開催しました。会議の構成員は、日ごろからお世話になっている地域の方（自治会長）や訪問診療の医師・他事業所職員の方々・仲間・ご家族・職員です。

参加された方からは仲間たちのホームでの生活について質問があり、仲間たちの高齢化や健康支援、地域理解などについてさまざまな質疑応答・意見交換が行われました。また、仲間たちからも他の施設やグループホームでの活動内容について他事業所の方に質問を投げかけ、様々な活動を知ることができました。ご家族からも外部の方からの情報が聞けて良かったという意見が挙がり、参加者それぞれにとって有意義な場になったのではないかと思いました。今回の会議で得られた意見を今後のホーム運営の参考にしていきたいと思います。

（管理者：藤）



法人実践研究発表会を行います



当法人では毎年、各事業所で行ってきた取り組み（実践）の成果を発表する「実践研究発表会」を開催しています。日中活動支援や在宅生活支援の場で取り組んできた実践の内容をそれぞれのレポートにまとめ、法人スタッフ、利用者ご家族、地域関係者の方々に向けて発表しています。今年度は2/15(日)に新えーる油山にて行う予定です。

仲間たちが使うパソコン・タブレットを購入しました！

善い心を未来へつなぐ財団様からの助成により、仲間たちが使うパソコン1台とタブレット（iPad）2台を購入しました。障がいのあるなしに関わらず、これらのデジタル端末は日常生活に欠かせないものとなっています。創作活動でモチーフを検索したり、お昼休みに好きなアイドルやアニメの動画を見たりと、それぞれに楽しみながら使っています。本当にありがとうございました。



社会福祉法人 葦の家福祉会だより 令和8年1月号

発行日 令和8年1月1日

編集・発行 社会福祉法人 葦の家福祉会

〒814-0153 福岡市城南区樋井川4丁目1-17

〈代表〉 Tel 092-873-7481 Fax 092-834-3362

E-mail asinoie@blue.ocn.ne.jp

URL <https://ashi.sakura.ne.jp>



法人ホームページ